DUNLOP NEXT CUP

TreeBond 神戸シリーズ　Rd.3

■開催日：6 月 25 日　■天候：雨のち曇り /WET ～ DRY　■参加：15 台

ウェット～ドライと変化する路面
堀尾風允が神戸完全制覇の 3 連勝 !!

ダンロップネクストカップ・スリーボンド神戸シリーズ第 3 戦が、6 月 25 日に兵庫県・神戸スポーツサーキットで開催された。

神戸シリーズは今回が最終戦。このあとは、夏の瑞浪特別イベント、そして秋の最終戦を残すのみとなる。これまでは、ヨーロッパ帰りの堀尾風允が、遺憾なくその強さを発揮し、全ヒートトップチェッカーで開幕 2 連勝をマーク。ポイントレースでも独走している。次回の瑞浪以降は EXGEL 新東京シリーズの選手も合流しシリーズチャンピオンを争うこととなるだけに、この神戸シリーズで少しでもポイントを上積みしておきたいところ。堀尾には神戸シリーズ完全制覇の可能性もあり、その走りが注目された。

もちろん、その他の選手にとっては神戸シリーズで堀尾の勢いを止めることが、逆転でのチャンピオン獲得に弾みをつけることともなる。今回は負けられない一戦だ。

梅雨の最中とあり、やはり天候は不安定。それでも、当初の予報では完全にレインレースとなることが予想されていたが、うまく雨雲がサーキットを避けるように移動した結果、午前中こそ時折強く雨が降ったものの、昼からは天候も回復し、予選ヒートはウェットコンディション、決勝ヒートはドライコンディションでレースが行われた。

やや強く雨が降る中で行われたタイムトライアル。ここで圧倒的なパフォーマンスを見せたのはやはり堀尾。他の選手が 56 秒台にとどまる中、ただ一人 55 秒台へとタイムを伸ばしトップタイムを獲得。2 番手の津端剣心とのタイム差はコンマ 7 秒以上と異次元の速さを見せ、早くも主導権を握る。

DUNLOP NEXT CUP　ThreeBond 神戸シリーズ　Rd.3

やや雨が弱くなった予選ヒート。ここで意地を見せたのが津端。スタートで前に出ると序盤は堀尾を従えてトップで周回。しかし、レース中盤に堀尾がトップを奪うと、それ以降は後続を引き離し独走。まずは予選をトップで終え、完全制覇へ王手をかけた。2位に津端、3位にはベテランの松村浩之が続いた。

迎えた決勝ヒート。路面は完全にドライへと回復し、午前中とは全く異なるコンディションとなる。ホールショットは堀尾が獲得するものの、2周目の2コーナーでスポット参戦の岡本健佑が堀尾をかわしトップに浮上。その後、堀尾も逆転するがすぐに岡本が再逆転。さらに3番手につけていた親川謙心もトップ争いに加わると堀尾をかわし2番手に上がる。

11周目には親川がトップに浮上し岡本、堀尾と続くが、12周目の2コーナーで一気にインに飛び込んできたのが堀尾。

DUNLOP NEXT CUP ThreeBond 神戸シリーズ第3戦

Pos.	No.	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.P.	Q.H.
1	㉕	堀尾風允	KR ファクトリー	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	55.366 ①	1
2	㉗	親川謙心	TIGRE	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	56.526 ⑤	5
3	㉞	岡本健佑	TIGRE	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	56.575 ⑥	3
4	㉑	清水跳馬	PEGTOP with KENT	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	56.790 ⑧	6
5	㉙	井上雅貴	S.S.C	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	57.010 ⑨	8
6	㉜	津端剣心	チームナガオ	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	56.105 ②	2
7	㉖	狭間翔太	チームナガオ	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	56.499 ④	4
8	㉓	島影柊磨	RT エスカルゴ	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	56.622 ⑦	7
9	㉟	乾　武晴	中島レーシング	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	58.259 ⑮	11
10	㊴	井谷俊介	BUZZ INTERNATIONAL	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL98	57.827 ⑬	13

岡本、親川をかわすと岡本、親川がラインのせめぎあいでやや遅れた間に一気にリードを広げ独走へと持ち込む。まさにワンチャンスを活かしきり、それ以降は約1秒のリードを保ったまま周回。そのまま後続の接近を許さなかった堀尾が、神戸シリーズ全3戦全てのヒートでトップチェッカーを受ける完全制覇を達成。フルポイントの105Pを獲得し、瑞浪ラウンドへと駒を進めることとなった。2位には今季初表彰台の親川、3位にスポット参戦の岡本が入り、同時に今大会最も活躍した選手としてMC-FORTUNE MVPを獲得した。

1st：堀尾風允

KR ファクトリー

1回3番手まで落ちましたし、今回は結構苦戦しました。パッシングはあれしかない、あの一本の道しか見えなかったです。その後、後ろが離れてから落ち着いて走れました。

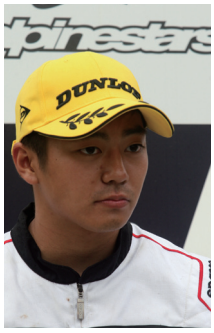
今回は4コーナーで3回ミスしたことが苦戦に繋がったと思います。次からは、もし抜かれて順位を落としても今まで通り速い自分でいられるように努力します。次からは新東京の選手も加わってくるので楽しみです。みんな速いと思います。タイムもそれほど変わらないと思います。瑞浪は逃げられませんから楽しみに、初心に戻って頑張ります。

2nd：親川謙心

TIGRE

今季のネクストカップのなかで一番いい走りができたかなと思いますが、展開に恵まれずに勝つことができませんでした。ただ勝てるポテンシャルはあったと思うので、瑞浪に向けていい気持ちになれたのが良かったです。

これまではトップ争いに食い込むこともできていなかったので、今季一番楽しかったです。



3rd：岡本健佑

TIGRE

2年ぶりにレースに出られて表彰台も取れ、1位もちょっと走れて良かったと思います。抜かれたときにテンパってしまい離されてしまいました。もっとキレイに抜かされていればよかったです。

今年のマシンパッケージは初めて乗りました。2年前とは車も違うし、タイヤも違うので色々と楽しかったけれど難しかったです。